

## ながさき森林環境保全事業の成果の検証報告

平成27年8月3日に開催された「平成27年度 第1回ながさき森林環境基金管理運営委員会」において、長崎県林政課より、「平成26年度ながさき森林環境保全事業」の実績を主とした説明を受け、ながさき森林環境基金管理運営委員会として、成果の検証を行いましたので、以下のとおり報告します。

### 1. 未整備森林緊急整備

森林経営計画区域内の手入れ不足の森林を健全な状態へ誘導することを目的として実施されており、26年度は、600ヘクタールの目標に対し、年度内の実施済みが489.46ヘクタールで、81.5パーセントの達成率となりました。搬出間伐の増加により目標を達成できなかったものと考えられますが、27年度については本事業とあわせて、新たな国の補助制度も活用しながら伐捨間伐を進めていく必要があると考えます。

### 2. 環境保全林緊急整備

市町が公益的に重要と位置付ける森林や保安林など、私たちの生活にとって特に重要とされる森林の内、荒廃した人工林を対象に事業を実施されており、26年度は、738ヘクタールの目標に対し、50.4ヘクタールの実績と、6.8パーセントの達成率となり、目標は達成されていません。

市町の調査結果に基づき県が発注する制度となっており、調査に不測の時間と費用が必要なため事業が進んでいない状況にあります。重要な森林の公益的機能を持続的に発揮させる上で重要な事業であり、制度の見直しの検討も必要であると考えます。

### 3. 林内路網緊急整備

森林整備を推進するために不可欠な作業道の整備について、効率的な路網配置を行う森林経営計画を事業要件とし、森林所有者の負担軽減を図るため、国の補助事業とあわせて実施されており、26年度は、130キロメートルの目標に対し、年度内の実施済みが202.199キロメートルで、155.5パーセントの達成率となり森林整備の基盤となる作業道の整備が進んでいると判断されます。

未整備森林で現状では材の搬出できないところについても整備を進めていく必要があるため、引き続き計画的な路網の整備を実施していく必要があると考えます。

### 4. しまの間伐促進

計画的な森林整備に伴い発生する間伐材を島外に出荷するための海上輸送費について、一定の支援を行うものであり、26年度は、5,250立方メートルの目標に対し6,474立方メートルの実績と、123.3パーセントの達成率で、間伐材の島外出荷が進むことで森林整備も計画的に進んでいると判断されます。また、五島地区においても、島外出荷の実績が認められ順調に達成しています。

## 5. ふるさとの森林づくり（市町提案型事業）

ながさき森林環境税の趣旨に即した地域の独自性と創意工夫による多様な取り組みを支援するものであり、26年度は、15件の取り組みを目標としていたのに対し、15件の実績と、100パーセントの達成率で、市町の事業として、地域独自の取り組みがおこなわれていると判断されます。しかしながら、事業を活用していない市町もあることから、すべての市町に取り組んでいただけるよう、働きかけが必要です。また、補助要件等についても状況の変化や使っていただく方の意見を聞きながら変更を検討する必要があります。

## 6. ながさき県民参加の森林づくり（制度型）

自立した活動を行える森林ボランティア団体等を育成していくため、森林ボランティア登録団体、小中高校生、緑の少年団が実施する活動について補助するもので、26年度は、10件の活動を目標としていたのに対し、4件の実績と、40パーセントの達成率となりました。県民参加の森林づくりについては、同様の国の事業「森林・山村多面的機能発揮対策」や「ふるさとの森林づくり（市町村提案型）」において実施が可能となっており、それらの事業での取り組みを進めるとともに、未活動団体については働きかけをおこなっていく必要があります。

平成27年8月3日

ながさき森林環境基金管理運営委員会

委員長 吉田 謙太郎

